

第312回

日文研フォーラム

講師◎ジラルデツリ 青木美由紀

イスタンブール工科大学(トルコ) 非常勤准教授補 / 日文研外国人研究員

明治の建築家 伊東忠太 オスマン帝国土産話

コメンテーター◎井上章一 日文研教授

司会◎佐野真由子 日文研准教授

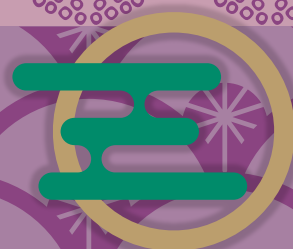
2017年7月25日(火) 十四時〜十六時(開場十三時四十分頃)
ハートピア京都3階大会議室 入場無料

先着一八〇名まで・申込み不要

International Research Center for Japanese Studies

The 312th Nichibunken Forum

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研30周年
NICHIBUNKEN 30TH ANNIVERSARY

日文研フォーラム

明治の建築家 伊東忠太
オスマン帝国土産話

Meiji Architect Ito Chuta: Travels through the Ottoman Empire

平安神宮や西本願寺伝道院の建築家として知られる伊東忠太(一八六七—一九五四)は、明治時代の日本人の言語生活に、「建築」という言葉を定着させました。日本初の建築史家でもある忠太は、日本建築の源流はギリシャにあるとの説を唱えます。

忠太はこの理論を証明するため、一九〇二(明治三五)年に日本を出発。中国、インド、オスマン帝国、欧州、米国をめぐる世界一周旅行に挑みました。三年三カ月にわたったこの旅は、彼の視点を変えることになりました。その後の忠太は、今日のいわゆる「東洋建築」、「イスラム建築」について、日本からの視点で考えはじめるのです。

本講演では、オスマン帝国での見聞に重点を置きながら、忠太の冒険と、「世界建築」への視座を探求します。

講師 **ジラルデッリ 青木美由紀** イスタンブル工科大学(トルコ) 非常勤准教授補 / 日文研 外国人研究員



1993年早稲田大学第一文学部美術史学専攻卒業。2004年イスタンブル工科大学社会科学研究院美術史学専攻にて博士号取得。ポアジチ大学文学部歴史学科非常勤准教授補を経て、現職のイスタンブル工科大学社会科学研究院美術史学専攻非常勤准教授補。2017年6月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は、美術史、建築史、文化交渉史。主な著作に『明治の建築家 伊東忠太 オスマン帝国をゆく』(ウェッジ、2015 紀伊國屋じんぶん大賞6位入賞)、*The Crescent and the Sun: Three Japanese in Istanbul Yamada Torajiro, Ito Chuta, Otani Kozui* (共編著、イスタンブル研究所、2010)、『オスマンの宮殿へ吹く日本の風』(トルコ国立宮殿局、2013)などがある。

コメンテーター **井上 章一** 日文研 教授



1980年京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、1987年国際日本文化研究センター助教授、2002年より同教授。専門分野は建築史、意匠論。現在の研究テーマは風俗、意匠など、目に見えるものをつうじた近代日本文化史の再構成。主な著書に『パンツが見える。——羞恥心の現代史』(朝日新聞社、2002)、『日本に古代はあったのか』(角川学芸出版、2008)、『伊勢神宮——魅惑の日本建築』(講談社、2009)、『京都ざらい』(朝日新聞出版、2015)、『京女の嘘(京都しあわせ倶楽部)』(PHP研究所、2017)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



日文研



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸太町」バス停下車

第313回 日文研フォーラム 2017年 9月12日(火) 14:00~16:00

講師：葛 継勇 鄭州大学(中国) アジア太平洋研究センター所長・教授 / 日文研 外国人研究員

コメンテーター：田中 史生 関東学院大学 教授 / 山内 晋次 神戸女子大学 教授 / 榎本 渉 日文研 准教授